

村の世帯・人口

1970年 9月末日現在

総世帯数 2,041戸

人 口 10,530人

男 5,309人

女 5,221人

当月の人口移動

出生 19 死亡 3

転入 63 転出 40

婚姻 11 離婚 2

火の用心

小さい火にも

大きな注意



らにはるに報広

発 行 所

西 原 村 役 所

電話 (095) 2401
2582・2583

印 刷 所

中 部 印 刷 K K
電話 (077) 4434

主 な も く じ

- 1 改選後初の臨時議会開かれる……………1
- 2 水道普及率を高めましょう……………1
- 3 火の用心……………2
- 4 西原の塔慰霊祭行なわれる……………2
- 5 農業機械化に備えて燃料使用高まとまる……………3
- 6 西原村所有種豚貸付事業を実施……………3
- 7 国政参加選と村の投票状況……………4
- 8 初の親子懇談会を開催……………4
- 9 与那嶺監督ら九州大会へ出発……………5
- 10 体協主催、駅伝大会、少年野球大会開催……………6
- 11 (イ) 婦人会主催、婦人バレーボール大会振わう……………6
中学校学習発表会終る……………6
- 12 複十字年賀はがき募金運動に協力を……………7
- 13 東パキスタン救援金品募集中……………7
(イ) 第十五回才末たすけあい運動に協力を……………7

改選後初の臨時議会開かれる

去る九月の議員選挙で新しく選ばれた議員による初議会が十月八日開かれ、正副議長並びに各常任委員会の構成メンバーが次のとおり決った。

議長・親泊輝武
副議長・与儀栄
総務委員会
委員長 中山正徳

委員 官平定昌
" 宇久田朝秀
" 比嘉昭幸
" 小波津享元
経済委員会
委員長 屋良朝光
委員 与古田光明
" 与儀栄
" 新垣盛光

委員 外間正栄
財政委員会
委員長 城間光雄
" 稲福恭助
" 新垣貞雄
" 与那城
" 新川正雄

水道普及率を高めましょう

水道係より

水道の普及が低い本村の水道事業の経営の困難性等を日頃感じている中から西原村水道事業の発展と経営

の健全性のために御協力方をお願いするため一筆書いてみたいと思います。まず村水道の各地域別給水状況

を次表のとおりまとめてみました。

地域別	総戸数	給水戸数	普及率	給水量 方メートル	立料 金
我謝	340戸	186戸	55%	1,826	358.05
与那城	166	76	46	767	147.90
兼久	156	133	85	1,509	286.80
新部落	70	19	27	265	45.90
小那覇	171	110	64	1,423	259.35
小波津屋部	20	17	85	271	46.65
嘉手苅	56	36	64	442	80.55
掛保久	33	21	64	200	40.20
安室	39	27	69	102	40.65
桃原	29	20	69	38	15.00
営業用	—	41	—	6,215	1,048.35
その他	—	66	—	1,392	273.90
計		752		14,450	2,643.30

(注) その他の場合は官公署、臨時給水及び、内間、小橋川、津花波、呉屋、小波津等現在給水工事中である地域をまとめております。

以上表でおわかりのとおりまだまだ水道を使用していない家庭が沢山あります。水道は消毒された清浄な飲料水として処理され、虫菌予防のためフッ素も混入されており文化的生活の享受、保健衛生の面からも、ぜひ

各家庭が水道を使用してもらいたいと思います。多額の資金を使って建設した水道施設の効率的な運用図り、水道管を百パーセント利用することにより水道料金の値下も可能となり独立採算を

もって経営している水道事業の健全な運営が期待されるのでありますので水道料金の値下げにつながる水道使用普及率の向上のため皆様の御協力をお願い致します。

!!火の用心!!

秋から冬にかけては火災が一年中で最も多く発生する時期です。例年十一月頃から三、四月頃までは空気が乾燥して火災の多発が予想されますので村民の皆様の火災予防に対する不断のより一層の心がけが必要と思います。火災シーズンにあたり「あぶないノ消し忘れ、切れ忘れ」をスローガンに十一月十八日から全琉いっせいに秋の火災予防運動がはじまった。南部地区消防協会では十八日から二〇日までの三日間火災予防週間とし最終日の二〇日には各町

村消防団、CSG軍消防隊、各会社団体の車両十五台が出動して共同による管下一円の消防パレードを実施し住民が火災シーズンを向えて防火意識の向上を図り、火災の発生防止への協力をよびかけるため共同パレードを実施した。村消防団では団員二〇名を火災予防週間初日(十八日)は午前七時より村役所前で払曉召集を実施、宮平吉太郎村長の特別通常点検を受け、ひきつづき団員による消防車の操法訓練を行なった(十九日)には村内会社団体等の消火設備

の完備状況を立入検査するなど団体等に協力と一層の予防対策をお願いした。火災は一寸の不注意によるものが圧倒的に多く十一月中にすでに三件の原野火災が発生、キビ畑が一、二〇坪焼けた。出火原因は二件が煙草の吸殻かと思われ、一件がチリ拾場に学生の火のいたずらによるもの、このようにほとんどの火災が人間の行為によって起る人災であり、これは未然に防ぐことは可能でありますので村民と消防が一体となって防火に当り、常に火災発生の際は消防と協力して消火に従じするよう心掛けて下さい。火の元には常に注意をはらい防火標語を念頭に火災防止につとめましょう。



写真は団員の消防器具の入手風景

※※※消えたはず燃えぬつもりが

火事のもと。

※※※火の用心 一とき悔い一生。

1961年以降村の火災発生状況

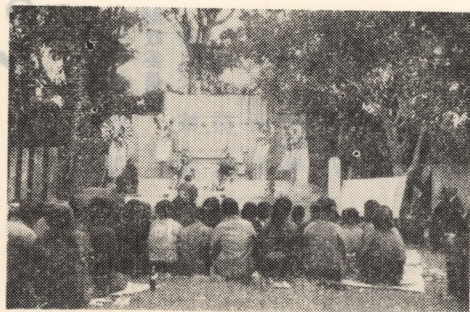
年 度	件数	被 害 物 件				被 害 額
		住家	キビ畑	原野	その他	
1964年	2	1		1		\$ 80.00
1965	7	2	4	1	1	2,934.00
1966	4			3	1	350.00
1967	5		4	2		2,194.00
1968	15		11	4		4,124.00
1969	6		4	1	1	4,127.00
1970						
11月末	9	1	6	2		545.00

※反戦平和の祈りをこめて

西原の塔慰霊祭行なわれる

満洲事変、第二次大戦で戦死した村内外軍人軍属ならびに一般戦斗参加者の英霊一、五〇〇余柱の冥福と反戦平和の祈りをこめて、本村恒例の慰霊祭が去る十一月二十五日午後二時から西原の塔で行なわれた。当日は天気に恵まれ村内外関係遺族をはじめ沖繩遺族連合会長、遠くは海をへだてて北海道より北海道遺族会、高橋長左衛門氏外五名の方々が参列し村内外より三〇〇名余の参列のもとにしめやかにとり行なわれ

た。祭式のことばにつづいて諸英霊一、五〇〇余柱の冥福と反戦平和の祈りをこめて一分間の黙祈のあと宮平村長、沖繩遺族連合会長、村議会議長、村遺族連合会長の焼香及び弔辞が読み上げられ、ひきつづき沖繩北方対策庁事務局長、琉球政府厚生局長からの弔電が読み上げられ慰霊塔内には供花と香煙で取りまかれ、集まった関係遺族の新たな涙をさそった。こうして一般焼香にうつり四時に閉式した。



写真は慰霊祭のもよう

農業機械化に備えて

燃料使用高まとまる！（上半期分）

一万三千五八〇リットル使用

農業の近代化に伴ない、政府では一九六六年立法第六十八号で石油税法の規定に基づき、各市町村長に委任された石油税特殊用途免税事務に要する経費を支弁し機械使用者に対して石油（ディーゼル・ガソリン等）使用者に対し市町村長が石油税証交

付申請書の受理、審査及びその交付を行なうことになっている今回は一九七〇年七月から十二月まで（上半期分）一七〇件で一三、五八〇リットル分を発行している。今回は中部製糖がトラックター四台使用で六〇件で一四八〇リッター、あと一一

〇件は個人耕うん機使用者七台で一、一〇〇リッターとなっている。その取扱販売については西原給油所カールテックスで扱っていますので、農業の近代化にそなえて耕うん機所持者（ディーゼル）は広く使用されるようお知らせします。

※西原村所有種豚

貸付事業を実施

本村では豚の改良増殖と畜産の振興を図るため、去る十月三十一日に具志川市からランドレース種、オス豚二頭、メス豚八頭を購入し、村内に居住する熱心な養豚農家を選定し十一月一日から一九七二年十月三〇日までの二ケ年間飼育契約した。契

約の内容はオスの場合は、種付手数料を一回三、五〇仙を設定し、飼育主（借受者）の収入金に充て、村有貸付規定によりその期間が到来した時は、時価相場の五割以内に払下する。メス豚にあっては、その生産した子豚（沖縄家畜登録協会に登録し

た）を二頭村に納入し、あと残る子豚は借受者の収入とする納入した子豚二頭を熱心な養豚農家に飼育させ、同じ条件で貸付を行ない、品種の改良増殖を図る計画である今回の村有種豚の借受者は次のとおりです。

村有種豚借受者名

字	氏名	豚の体重	性別	字	氏名	豚の体重	性別
翁長	城間 秀英	四一キロ グラム	オス	小波津	小波津 三郎	五二	メス
呉屋	呉屋 幸助	五五	オス	池田	野国 昌敏	四一	メス
森川	安座間 喜進	八〇	メス	掛保久	新垣 孫栄	六六	メス
棚原	新里 正雄	四八	メス	我謝	平良 程義	四三	メス
翁長	糸数 三良		メス	我謝	城間 清一	七五	メス

国政参加選と村の投票状況

戦後初めて二十八年ぶりに回復した国政参加選挙は七二年返還を確定づけた佐藤、ニクソン共同声明の評価つまり返還路線を問う意義を持つとともに七二年の施政権返還にそなえる県づくりの姿勢、方途を問うも

のである五十四万沖繩住民の審判が内外の注目を集めて行なわれた結果はすでにご承知のとおりです。本村では総有権者数五、三四四人で投票者数四、九一人投票率九一、八九パーセントという三番目の好投票率

を示したそれは村民の有権者として政治に対する責任と感心度を現わしたものだと思えます本村での国会議院候補者の得票数と投票状況は次表のとおりである。

国政参加選の得票数・村の投票状況及び候補者別

総有権者数	男	2,574人	計	5,344人
	女	2,770人		
投票者数	男	2,369人	計	4,911人
	女	2,542人		
棄権者数	男	205人	計	433人
	女	228人		
投票率 91.89%				
各候補者の得票数	衆議院議員選挙	候補者の氏名	党派	得票数
		国場幸昌	自由民主党	1,479
		安里積千代	社会民主党	1,259
		上原康助	沖縄県民由党	745
		瀬長亀次郎	自由民主党	496
		西銘順治	自由民主党	319
		友利栄吉	公明党	286
		山川泰邦	自由民主党	108
各候補者の得票数	参議院議員選挙	候補者の氏名	党派	得票数
		喜屋武真栄	革新社会民主党	2,552
		稲嶺一郎	自由民主党	1,940
		下里恵良	無所属	51

初の親子懇談会開催

西原村青少年健全育成協議会

去る七月三日午後一時より村役所ホールにおいて村青少年健全育成協議会主催による青少年の健全育成について第一回親子懇談会がもたれその内容がこの程ままとまりましたので御紹介方々、各家庭の反省と今後、親と子が共に理解しあう明るい家庭づくりと明るい村の建設、住よい社会づくりのための参考資料にしていただきたい。

※親子懇談会記録

会長あいさつ（村長官平吉太郎）

全琉的に悪質な事件が多くなつて青少年の非行化がめだつて来ており残念に思う。社会問題として大きく

とりあげ色々な面から対策を講じていかなければいけない。社会全体が一体となつて、あたつてほしい。問題児の指導、更生に学校が力を入れておられるが親と子の話し合を持つて、この問題解決にどう取りくんでいくか有意義な会にしてほしい。

司会者の挨拶（司会浦崎先生）

意見をはつきり言つて、みんなの代表としての責任を果し有意義な会にしてほしい。

（子の立場から）

◎子供の意見を無視することがよくある（女子）

◎親からあの友達とはつき合うなと

かいて一方的に止めることがある（女子）

◎家庭で楽しい時間はみんながそろつて話し合う時が一番楽しい（男子）

◎仕事をしている時にいちいち、そばから親から言われると、やろうという気持がなくなる時がある。責任を持つてやるのがみがみ言わないでほしい（女子）

◎親が不気嫌な時、子供に八つ当たりすることがある（女子）

◎学習中に平気で買物などにお手伝いを頼むことがよくある（女子）

◎反省しようという気持があるのに、その気持を親のことばでなく

してしまふことがある(女子)

◎両親と一しよに働くことは楽しい

(男子)

◎父から小さい頃の話を聞かしても
らう時は楽しい(男子)

◎男女交際を頭からいけないことだと親がきめつけるのはいけないことだと思う(女子)

◎単調な生活はいやなので、家庭でも和をもつて楽しくしていきたい

(男子)

(親の立場から) (父親)

◎今家庭や学校で、一番困っている点は何か言ってほしい(物質的面と精神面から)

(生徒から)

◎相談相手がなく困っている(女子)

◎子供扱いされて困っている(男子)

◎遊び場がなく困る。施設がないので運動や遊びが出来ない。小学校でも五時以後は運動場を使わしてくれない(男子)

◎クラブ活動に行くのに何かほかのことをしにいくのかと親がしつこく

く聞くので困る。

(親の立場から)

◎今の子供は自己意識が強すぎる

努力はしないで自分の知識だけで問題にあたらうとする。内容はなく、外観だけにとられすぎる。悪いことが連鎖反応的に広がって

いく、もう少しがまん強さがあってほしい。また親も子供を信頼して理解してあげてほしい(父親)

◎子供の学習中は決してお手伝いをさせないようにしたい(父親)

◎バスの中で席をゆずりあってほしい、あいさつは、きちんとやってほしい(中学に行ってからやらなくなつた)

◎クラブをやることはよいが勉強も両立できる程度にやってほしい、親子は信頼し合えるようになってほしい(父親)

◎親はたえず子供のことを心配でたまらない。子供の行動は何でも不安で信頼出来ない。親に心配をかけるないように気をつけてほしい。

親と子の心のつながりをつよめてほしい(父親)

(学校長の立場から) 生徒へ

◎人間関係を念頭において自己主張をしてほしい。相手を尊重して寛大な気持でゆずりあってほしい。主権在民ということを忘れずに、民主主義の精神を忘れないでほしい。学力をつけるためには努力が必要であるので、その点を考えてほしい。

(校長から父兄へ)

◎子供から信頼される大人になってほしい。この次の集りまでには是非そのことについて、もっと話し合つてほしい。親と子のつながりを深めて行くようにするための話し合いをもつと深めてほしい。

終り

今回の親子懇談会は台風接近のため、三時五分で散会、後日七月十三日に開催されましたが次回に御紹介致します。

!!与那嶺監督(普天間高校) エース 玉城投手

野手 仲宗根・宮里君ら九州大会へ出発!

去る十月二十五日奥武山球場で熱戦をくり広げた第二十回高校新人野球大会優勝戦を強豪、小禄高校と普天間の間で沖縄代表を掛けて戦われ四対三で普天間の初優勝となった今大会での優勝は何んといつても玉城投手の活躍が大きく、又普天間高校野球部の監督が西原村幸地出身の与那嶺誠一先生でチームの中心人物として活躍して居る選手が投手の玉城善則君(字伊保の浜出身)野手として幸地出身の仲宗根健仁君、棚原出身の宮里景男君の三人が活躍している新人戦で沖縄一の投手となった玉城は速球が武器の本格派、今大会で

指折りの好投手で去る強化リーグ戦でも六試合に投げ四試合を完封し、失点が四という成績で強化リーグで優勝し今大会新人戦でも予想どおり普天間高校に初の優勝をもたらした沖縄代表として十一月二十一日から三日間熊本市で行なわれる第四十七回九州高校野球大会に参加することになった。本村スポーツ団体である体育協会でもスポーツ愛好者を中心として本村スポーツ振興と彼等の九州大会での活躍を期待して体協会長玉那覇三郎、副会長長安里貞雄、普天間高校教諭宮平善市、中城小学校教諭石原佑哲先生が発起人となり村長を

初め、村スポーツに熱意のある方々の御賛同を得て、四君に激励費として手渡すとともに、九州大会でも日ごろの力を十分發揮して頑張るよう激励した。



◎ 字對抗駅伝大会・中学生野球大会

村体育協会主催

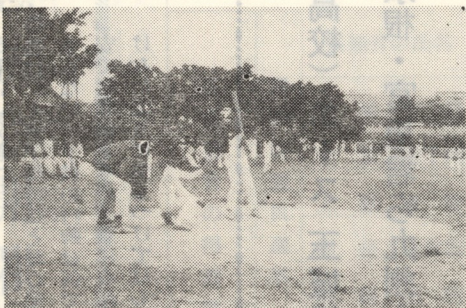
◎ 字對抗婦人バレーボール大会振わう。

村婦人会主催

村体育協会（会長玉那覇三郎）では十一月二十九日駅伝大会と中学生野球大会を西原小学校グラウンドで開催した。駅伝大会は午前十一時同小学校門を出発参加チームは八チーム四十八名の選手で美里村字高原を折返し三万メートルを優勝を掛けて争った。競技の結果優勝字上原チーム、二位我謝チーム、三位幸地チーム、なお上原チームは二年連続優勝をなしとげた。

オブザーバーで参加した高校生チームは一位でテープを切った。中学生野球は十四チームが参加して熱戦をくりひろげた結果字幸地、小波津、与那城、内間、新部落、小那覇、上原チームの七チームが勝ち残り次の試合優勝戦を掛けて十二月五日に行なう予定。

又、同グラウンドで行なわれた村婦人会主催（会長、宮平春子）の字対



少年野球大会のもよう



婦人バレーボール大会のもよう

ハッスル、子供達が声援する中で熱戦はくりひろげられ、午後四時に大会を終った。

※ 熱戦の結果

- 一位 仲伊勢婦人会
- 二位 小那覇婦人会
- 三位 小橋川婦人会

※ 独立中学校第四回

学習発表会終る！

西原中学校（校長、東郷納徳友）

では十一月二八日午後一時より村役所ホールにおいて第四回学習発表会を開催した。会場には父兄が多数つめかけ一幕一幕の生徒の演技に拍手を送り会場は楽しい一日でにぎわった。学習発表会は生徒にとって日常の学習生活の発表の場であり学校側としては、父兄に対する学習の報告の機会でもある。発表を通して生徒の個性を生かしさらに創造力や責任感、協力の精神を養い、又、発表会

に對し魅力を持たせるとともに刺激を与えて学習や生活に対する意欲をおこさせることが発表会のねらいでありその成果を期待したいものである。

*

*

*

*



写真は発表会の一場面

※沖縄から結核をなくすため
複十字年賀はがき募金運動に
御協力下さい！

今年も十月一日～十二月二十一日までの三カ月間全琉一斉に第十一回「一九七一年度複十字年賀はがき募金運動」を行なっております。
今回、沖縄療友会より本村に複十字年賀はがきが、二、六〇〇枚割当られ、すでに各区長を通じて村民の皆様方の家庭に募金願いに伺っていると思います。御承知のように、この募金の収益金は、沖縄療友会が沖縄

の結核対策諸般の事業に使用し、私達の郷土から一日も早く結核をなくし、又、不幸にして結核にかかっている人たちの社会復帰を促進するため本運動を実施しております。毎年この年末時は出費多端のことだと存じますが、本運動の主旨を御理解下さい。御協力下さるようお願い致します。

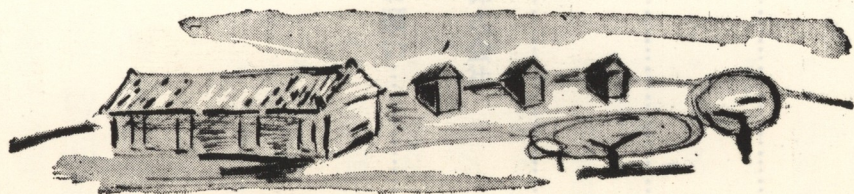
東パキスタン

救援金品募集中

マスコミ報道によりすでにご承知のように去る十一月十三日東パキスタンを襲ったサイクロン(台風)と高潮による災害は今世紀最大の規模といわれ数十万人の死者、行方不明とまだまだ予測できないほどの被災者が家を失ない、あてもなくさまよっている状態であります。つきま

しては、東パキスタン災害救援金品募集を行ない是非村民の方々の御協力を賜われますようお願い致します。

募集期間 十一月二〇日～十二月二〇日まで
受付 役所・住民課



みんながそろって
明るい正月を！

第15回才末たすけあい 運動実施中

自 12月5日 ～ 至 12月20日

ご協力を賜われますようお願い致します
西原村社会福祉協議会

出生 25 死亡 5
転入 31 転出 3
婚姻 14 離婚 2

火の用心
小さい火にも
大きな注意

◎ 宇村抗戦大会・中学生野球大会

村体育協会主催

◎ 宇村抗戦大会・中学生野球大会

村婦人会主催

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事

日2月15 至 日2月15

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事

煉對金品募渠中

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事

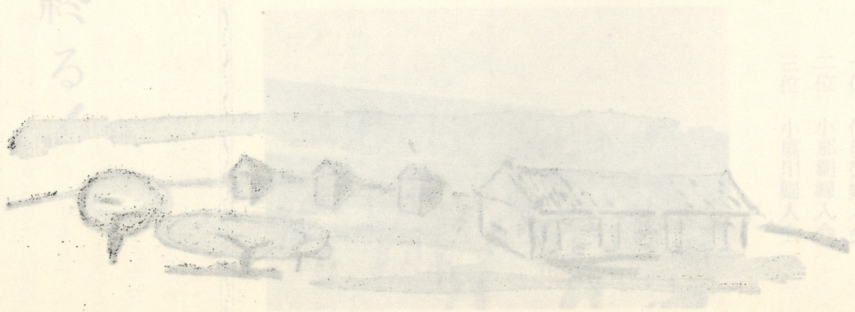
宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事

東ハナズ独立中学校第四回

学習発表会終る

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事



婦人バレーボール大会のもよう

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事

宇村抗戦大会・中学生野球大会
中前実地事